

## 小児慢性特定疾患登録時の自動的表示・解析内容

加藤忠明<sup>1)</sup>、田中敏章<sup>3)</sup>、齋藤 進<sup>2)</sup>、中村 敬<sup>2)</sup>、加藤則子<sup>4)</sup>、柳澤正義<sup>5)</sup>

要約：小児慢性特定疾患治療研究事業を効果的に推進するため、小児慢性特定疾患登録時に自動的に、計算、表示できる内容を検討した。患児の年月齢、発病年月齢、「内分泌疾患」や「糖尿病」における肥満度やカウプ指数、成長ホルモン治療の判定基準となる参考値等を、医療意見書の内容のコンピューター入力時に自動的に表示できるように、コンピューターソフトに組み入れる。また、解析結果の一部を簡単に出力できるようにする。

見出し語：小児慢性特定疾患、コンピューター自動計算、小児難病の登録・集計

### 研究目的：

小児慢性特定疾患治療研究事業（以下、小慢事業）を効果的に推進するため、平成10年度より使用される医療意見書の書式を改め、その登録・集計システムの在り方を検討した<sup>1)</sup>。

本報告では、その登録時に、患児のプライバシー保護を十分に配慮しながら、成長ホルモン治療の判定基準値等を自動的に算出できるソフト、また、疫学的知見等の解析結果の一部を簡単に出力できるソフトを開発し、登録時の便宜をはかることを目的にした。

### 研究方法：

予算の範囲内で、効果的に登録管理システムを構築するプログラム開発を行うため、小慢事業に関する各種の研究班の班員の意見<sup>1)</sup>、先行研究内容等<sup>2)、3)</sup>を基に検討した。

### 結果と考察：

医療意見書をもとにコンピューターに入力する項目と、入力時に自動的に画面に表示させる項目、疫学的知見等に関して簡単に解析可能な項目、およびその自動的な計算方式を、10疾患群ごと、また成長ホルモン治療用意見書に関して以下に示す。ただし、詳細な集計を行うためには、別のソフトが必要である。

<sup>1)</sup> 日本子ども家庭総合研究所母子保健研究部、<sup>2)</sup> 同研究所研究企画・情報部

<sup>3)</sup> 国立小児病院小児医療研究センター内分泌代謝研究部、

<sup>4)</sup> 国立公衆衛生院母子保健学部、<sup>5)</sup> 東京大学医学部小児科

## I、悪性新生物

### 1) コンピューター入力項目

入力項目は、「1. 平成年度」、「2. 都道府県等の番号」、「3. 保健所番号」、「4. 受給者番号」、「5. 新規・継続」、「6. 男女」、「7-1. 出生年」、「7-2. 出生月」、「7-3. 出生日」（ただし、「7-1」～「7-3」は中央集計場所へは報告しない。以下の疾患群も同様）、「8. 発病年」、「9. 発病月」、「10-1. 診断名」（この診断名は集計しない。診断名の何文字かを入力すると、対比するICD10番号を自動的に表示させて入力しやすくする。以下の疾患群も同様）、「10-2. ICD10」、「11. FAB分類L、M」、「12. 骨髄マア-の腫瘍細胞の%」、「13. ペルキダ-ゼ」、「14. エステラ-ゼ」、「15. VMA」、「16. HVA」、「17. NSE」、「18. AFP」、「19. CEA」、「20. HCG」、「21. ferritin」、「22. CT」、「23. MRI」、「24. アンギオ」、「25. 染色体検査」、「26. DNA診断」、「27. 合併症」、「28. 神経芽細胞腫の場合の発見理由」、「29. 経過」、「30-1. 診断年」、「30-2. 診断月」、「30-3. 診断日」（ただし、「30-1」～「30-3」は中央集計場所へは報告しない。以下の疾患群も同様）とした<sup>1)</sup>。

### 2) 自動的に画面に表示させる項目

データ入力時に、「\*7. 記入時（診断時）の年月齢」、すなわち「\*7-1. 歳」、「\*7-2. カ月」と、「\*9. 発病時の年月齢」、すなわち「\*9-1. 歳」、「\*9-2. カ月」を自動的に画面上に表示させる。

前者の計算式は、次の通りである。「30-1. 記入年」-「7-1. 出生年」（負の場合は+63する）=M、「30-2. 記入月」-「7-2. 出生月」=N、Nが-11～-1の

場合は、「M-1」歳「N+12」カ月を、Nが0～11の場合は、M歳Nカ月を、MM歳NNカ月とした。「\*7-1. 歳」は「MM歳」であり、「\*7-2. カ月」は「NNカ月」である。これら記入時の年月齢を画面上に表示させ、その後の集計の基本にする。

後者は、「8. 発病年」-「7-1. 出生年」（負の場合は+63する）=M、「9. 発病月」-「7-2. 出生月」=N、Nが-11～-1の場合は、「M-1」歳「N+12」カ月を、Nが0～11の場合は、M歳Nカ月を、MM歳NNカ月とする。「\*9-1. 歳」は「MM歳」であり、「\*9-2. カ月」は「NNカ月」である。これら発病時の年月齢を表示させ、集計の基本にする。ただし、上記の基準で算出できない場合は、「算出不能」と表示する。

### 3) 各都道府県・指定都市・中核市、及び中央で解析結果を簡単に出力できる内容

#### ①全項目の単純集計（\*7、\*9を含む）

単純集計は、データチェックをするために必要である。また、この結果により、一年間に登録された保健所別、男女別、出生年別、発病年月別、疾患名別、FAB分類別、症状別、検査結果別、合併症の有無別、神経芽細胞腫の場合はその発見理由別、経過別、悪性新生物の登録数の把握が可能となる。

②「10-2、11」別の、1～6、\*7、8、9、\*9、12～29の頻度（2桁である「12」は、左方の数字で10個に分類した頻度）

この結果により、疾患名別（一般的な疾患名等でまとめたもの）とFAB分類別の、発病率（新規診断）と罹患率（新規診断+継続）の概要の把握、また、一年間に登録された保健所別、男女別、出生年別、発病年月別、症状別、検査結果別、合併症の有無別、経過別、登録数の把握が可能となる。

## II、慢性腎疾患

### 1) コンピューター入力項目

入力項目は、「1. 平成年度」、「2. 都道府県等の番号」、「3. 保健所番号」、「4. 受給者番号」、「5. 新規・継続」、「6. 男女」、「7-1. 2. 3. 出生年月日」、「8. 発病年」、「9. 発病月」、「10-1. 2. 疾患名とICD10」、「11. 血尿の有無」、「12. 赤血球数/視野」、「13. 蛋白尿の有無」、「14. 蛋白尿mg/dl」、「15. 血清総蛋白」、「16. 血清アルブミン」、「17. クレアチニン」、「18. 総コレステロール」、「19. IgA」、「20. C3」、「21. 腎エコー」、「22. 腎生検」、「23. 合併症」、「24. 経過」、「25-1. 2. 3. 診断年月日」とした<sup>1)</sup>。

### 2) 自動的に画面に表示させる項目

データ入力時に、「\*7. 記入時(診断時)の年月齢」、すなわち「\*7-1. 歳」、「\*7-2. カ月」と、「\*9. 発病時の年月齢」、すなわち「\*9-1. 歳」、「\*9-2. カ月」を自動的に画面上に表示させる。

計算式は、「I、悪性新生物」と同様である。ただし、「30-1. 記入年」は「25-1」、「30-2. 記入月」は「25-2」とする。

### 3) 各都道府県・指定都市・中核市、及び中央で解析結果を簡単に出力できる内容

①全項目の単純集計(\*7、\*9を含む)

②「10-2」別の、1~6、\*7、8、9、\*9、11~24の頻度(2~3桁の「15~19」は、左方の数字で10個に分類した頻度。「20」は、左方2桁の数字で30個(00、01、~、28、29以上)に分類した頻度。「15~18」は、平均値±標準偏差値も算出する。)

## III、ぜんそく

### 1) コンピューター入力項目

入力項目は、「1. 平成年度」、「2. 都道府県等の番号」、「3. 保健所番号」、「4. 受給者番号」、「5. 新規・継続」、「6. 男女」、「7-1. 2. 3. 出生年月日」、「8. 発病年」、「9. 発病月」、「10-1. 2. 疾患名とICD10」、「11. 重症度・軽」、「12. 重症度・中」、「13. 重症度・重1」、「14. 重症度・重2」、「15. 治療点数」、「16. IgE」、「17. RAST陽性抗原」、「18. 末梢血好酸球」、「19. 喀痰・鼻汁の好酸球」、「20. FEV<sub>1.0</sub>」、「21. %FEV<sub>1.0</sub>」、「22. %PEF」、「23. 改善率」、「24. 気道過敏性」、「25. 合併症」、「26. 経過」、「27-1. 2. 3. 診断年月日」とした<sup>1)</sup>。

### 2) 自動的に画面に表示させる項目

データ入力時に、「\*7. 記入時(診断時)の年月齢」、すなわち「\*7-1. 歳」、「\*7-2. カ月」と、「\*9. 発病時の年月齢」、すなわち「\*9-1. 歳」、「\*9-2. カ月」を自動的に画面上に表示させる。

計算式は、「I、悪性新生物」と同様である。ただし、「30-1. 記入年」は「27-1」、「30-2. 記入月」は「27-2」とする。

### 3) 各都道府県・指定都市・中核市、及び中央で解析結果を簡単に出力できる内容

①全項目の単純集計(\*7、\*9を含む)

②「10-2」別の、1~6、\*7、8、9、\*9、11~26の頻度(「15、16、18、21~23」は、左方の数字で10個に分類した頻度。「20」は、30個(00、01、~、28、29以上)に分類した頻度。また、これらは平均値±標準偏差値も算出する。)

#### IV、慢性心疾患

##### 1) コンピューター入力項目

入力項目は、「1. 平成年度」、「2. 都道府県等の番号」、「3. 保健所番号」、「4. 受給者番号」、「5. 新規・継続」、「6. 男女」、「7-1. 2. 3. 出生年月日」、「8. 発病年」、「9. 発病月」、「10-1. 2. 疾患名とICD10」、「11. チアノーゼ」、「12. 哺乳力低下(食欲不振)」、「13. 多呼吸」、「14. 体重増加不良」、「15. 体重」、「16. 易感染性」、「17. 易疲労性(運動制限)」、「18. 心雑音」、「19. 心電図1」、「20. 心電図2」、「21. 不整脈」、「22. 心胸郭比」、「23. 肺血流」、「24. 心エコー」、「25. 心臓カテーター検査」、「26. 動脈血酸素飽和度」、「27. 28. 肺動脈圧」、「29. 肺動脈平均圧」、「30. 31. 右室圧」、「32. 33. 左室圧」、「34. 35. 大動脈圧」、「36. 大動脈平均圧mmHg」、「37. Qp/Qs」、「38. Rp/Rs」、「39. 合併症」、「40. 経過」、「41-1. 2. 3. 診断年月日」とした<sup>1)</sup>。

##### 2) 自動的に画面に表示させる項目

データ入力時に、「\*7. 記入時(診断時)の年月齢」、すなわち「\*7-1. 歳」、「\*7-2. カ月」と、「\*9. 発病時の年月齢」、すなわち「\*9-1. 歳」、「\*9-2. カ月」を自動的に画面上に表示させる。

計算式は、「I、悪性新生物」と同様である。ただし、「30-1. 記入年」は「41-1」、「30-2. 記入月」は「41-2」とする。

##### 3) 各都道府県・指定都市・中核市、及び中央で解析結果を簡単に出力できる内容

- ①全項目の単純集計(\*7、\*9を含む)
- ②「10-2」別の、1~6、\*7、8、9、

\*9、11~26、39、40の頻度(「22、26、37、38」は、左方の数字で10個に分類した頻度。「15、27~36」は、左方2桁の数字で30個(00、01、~28、29以上)に分類した頻度。)

#### V、内分泌疾患

##### 1) コンピューター入力項目

入力項目は、「1. 平成年度」、「2. 都道府県等の番号」、「3. 保健所番号」、「4. 受給者番号」、「5. 新規・継続」、「6. 男女」、「7-1. 2. 3. 出生年月日」、「8. 発病年」、「9. 発病月」、「10-1. 2. 疾患名とICD10」、「11. 平成年」、「12. 身長」、「13. 体重」、「14. 二次性徴B/G」、「15. 二次性徴PH」、「16. 先天性甲状腺機能低下症、先天性副腎過形成の場合の発見理由」、「17. 合併症」、「18. 経過」、「19-1. 2. 3. 診断年月日」とした<sup>1)</sup>。

##### 2) 自動的に画面に表示させる項目

データ入力時に、「\*7. 記入時(診断時)の年月齢」、すなわち「\*7-1. 歳」、「\*7-2. カ月」と、「\*9. 発病時の年月齢」、すなわち「\*9-1. 歳」、「\*9-2. カ月」を自動的に画面上に表示させる。

計算式は、「I、悪性新生物」と同様である。ただし、「30-1. 記入年」は「19-1」、「30-2. 記入月」は「19-2」とする。

また、「内分泌疾患」では、「\*13-1. 標準体重」と、「\*13-2. 肥満度(身長70cm以上~17歳の場合、%表示)」または「\*13-3. カウプ指数(身長70cm未満の場合)」も表示させる。

この計算式は、次の通りである。

「\*7-1. 歳」= {またはこの値が算出不能の時のみ、「11. 平成年」-「7-1. 出

生年」の数（負の場合は+63する）=}

「Z」が5～18の場合、

$P \times \text{「12.身長」} - Q = \text{「*13-1.標準体重」}$ を表示させる。小数点2位以下は切り捨てる（以下、同様）。ただし、P、Qの値は、

「6」が1（男児）の時、

「Z」が5では、P : 0.381、Q : 23.099、

6 P : 0.440、Q : 30.134、

7 0.489、 36.294、

8 0.576、 47.007、

9 0.634、 54.615、

10 0.708、 64.866、

11 0.763、 72.848、

12 0.784、 76.118、

13 0.816、 81.589、

14 0.822、 82.034、

15 0.774、 72.009、

16 0.708、 60.404、

17, 18 0.675、 54.084、

「6」が2（女児）の時、

「Z」が5では、P : 0.379、Q : 22.923、

6 P : 0.433、Q : 29.331、

7 0.484、 35.64、

8 0.538、 42.371、

9 0.620、 53.008、

10 0.700、 64.186、

11 0.784、 76.406、

12 0.806、 78.855、

13 0.682、 58.704、

14 0.614、 46.482、

15 0.562、 36.913、

16 0.588、 40.622、

17, 18 0.583、 39.935、

$(\text{「13.体重」} - \text{「*13-1.標準体重」}) \div \text{「*13-1.標準体重」} \times 100 = \text{「*13-2.肥満度」}$  (%) を表示させる。ただし、-99以下は-99、+99以上は+99とする（以下、同様）。

「Z」が4以下、かつ「12.身長」が70以上の場合、「6」が1の時は、 $1.83 \times 0.001 \times \text{「12.身長」}^2 - 0.071 \times \text{「12.身長」} + 4.43 = \text{「*13-1.標準体重」}$ を表示させる。「6」が2の時は、 $2.34 \times 0.001 \times \text{「12.身長」}^2 - 0.157 \times \text{「12.身長」} + 7.71 = \text{「*13-1.標準体重」}$ を表示させる。

そして、各々の「\*13-1.標準体重」に基づき、 $(\text{「13.体重」} - \text{「*13-1.標準体重」}) \div \text{「*13-1.標準体重」} \times 100 = \text{「*13-2.肥満度」}$  (%) を表示させる。

「Z」が4以下、かつ「12.身長」が70未満の場合、「13.体重」 $\div \text{「12.身長」}^2 \times 10000 = \text{「*13-3.カウプ指数」}$ を表示させる。小数点以下は切り捨てる。

ただし、上記の基準で算出できない場合は、「算出不能」と表示する。

3) 各都道府県・指定都市・中核市、及び中央で解析結果を簡単に出力できる内容

①全項目の単純集計（\*7、\*9、\*13-1、\*13-2または\*13-3を含む）

②「10-2」別の、1～6、\*7、8、9、\*9、11～18、\*13-2または\*13-3の頻度。

「12、\*13-3」は、左方2桁の数字で30個（00、01、～28、29以上）に分類した頻度と、平均値±標準偏差値。「13」は、左方の数字で10個に分類した頻度と、平均値±標準偏差値。「\*13-2」は、「-90以下、-89～-80、～、-29～-20、-19～-15、-14～-10、-09～-00、+00～+09、+10～+14、+15～+19、+20～+29、～、+80～+89、+90以上」の22個に分類した頻度。ただし、「\*13-1」は計算しない。

## VI、膠原病

### 1) コンピューター入力項目

入力項目は、「1. 平成年度」、「2. 都道府県等の番号」、「3. 保健所番号」、「4. 受給者番号」、「5. 新規・継続」、「6. 男女」、「7-1. 2. 3. 出生年月日」、「8. 発病年」、「9. 発病月」、「10-1. 2. 疾患名とICD10」、「11. 関節症状」、「12. 皮膚症状」、「13. 発熱」、「14. レイノー症状」、「15. 眼症状」、「16. 口腔内症状」、「17. 赤沈」、「18. CRP」、「19. 白血球」、「20. 血清総蛋白」、「21. γグロブリン値」、「22. 抗核抗体」、「23. 抗DNA抗体」、「24-1. 抗RNP抗体」、「24-2. RA」、「25. 生検」、「26. 合併症」、「27. 経過」、「28-1. 2. 3. 診断年月日」とした<sup>1)</sup>。

### 2) 自動的に画面に表示させる項目

データ入力時に、「\*7. 記入時(診断時)の年月齢」、すなわち「\*7-1. 歳」、「\*7-2. ヲ月」と、「\*9. 発病時の年月齢」、すなわち「\*9-1. 歳」、「\*9-2. ヲ月」を自動的に画面上に表示させる。

この計算式は、「I、悪性新生物」と同様である。ただし、「30-1. 記入年」は「28-1」、「30-2. 記入月」は「28-2」とする。

### 3) 各都道府県・指定都市・中核市、及び中央で解析結果を簡単に出力できる内容

①全項目の単純集計(\*7、\*9を含む)

②「10-2」別の、1~6、\*7、8、9、\*9、11~27の頻度(「17、20、21、23」は、左方の数字で10個に分類した頻度と、平均値±標準偏差値を算出する。)

## VII、糖尿病

### 1) コンピューター入力項目

入力項目は、「1. 平成年度」、「2. 都道府県等の番号」、「3. 保健所番号」、「4. 受給者番号」、「5. 新規・継続」、「6. 男女」、「7-1. 2. 3. 出生年月日」、「8. 発病年」、「9. 発病月」、「10-1. 2. 疾患名とICD10」、「11. 平成年」、「12. 身長」、「13. 体重」、「14. 多尿・多飲」、「15. 体重減少」、「16. 全身倦怠」、「17. 意識障害」、「18. 昏睡」、「19-1. -2. 血糖値」、「20. Insulin」、「21. HbA1c」、「22-1. -2. 尿糖値」、「23. ケトン尿」、「24. 蛋白尿」、「25. クレアチニン」、「26. GOT」、「27. 総コレステロール」、「28. 29. 30. 31. 0-GTT」、「32. 糖尿病性合併症」、「33. その他の合併症」、「34. 経過」、「35-1. 2. 3. 診断年月日」とした<sup>1)</sup>。

### 2) 自動的に画面に表示させる項目

データ入力時に、「\*7. 記入時(診断時)の年月齢」、すなわち「\*7-1. 歳」、「\*7-2. ヲ月」と、「\*9. 発病時の年月齢」、すなわち「\*9-1. 歳」、「\*9-2. ヲ月」を自動的に画面上に表示させる。

計算式は、「I、悪性新生物」と同様である。ただし、「30-1. 記入年」は「35-1」、「30-2. 記入月」は「35-2」とする。

また、「糖尿病」では、「\*13-1. 標準体重」と、「\*13-2. 肥満度(身長70cm以上~17歳の場合、%表示)」または「\*13-3. カウプ指数(身長70cm未満の場合)」も表示させる。この計算式は、「V、内分泌疾患」と同様である。

ただし、上記の基準で算出できない場合は、「算出不能」と表示する。

### 3) 各都道府県・指定都市・中核市、及び中央で解析結果を簡単に出力できる内容

以下、P群とは、{「19-1」別の「19-2」、「22-1」別の「22-2」、「28」（45～54g負荷、70～79g負荷、95～104g負荷の場合）別の「29～31」の単純集計}とする。

①全項目の単純集計（P群、\*7、\*9、\*13-1、\*13-2または\*13-3を含む）

②「10-2」別の、1～6、\*7、8、9、\*9、11～34、\*13-2または\*13-3、P群の頻度。

「13、19-2、20、25～27」は、左方の数字で10個に分類した頻度と、平均値±標準偏差値。「12、\*13-3、21、22-2、28～31」は、左方2桁の数字で30個（00、01、～、28、29以上）に分類した頻度。「\*13-2」は、「-90以下、-89～-80、～、-29～-20、-19～-15、-14～-10、-09～-00、+00～+09、+10～+14、+15～+19、+20～+29、～、+80～+89、+90以上」の22個に分類した頻度。ただし、「\*13-1」は計算しない。

## Ⅷ、先天性代謝異常

### 1) コンピューター入力項目

入力項目は、「1. 平成年度」、「2. 都道府県等の番号」、「3. 保健所番号」、「4. 受給者番号」、「5. 新規・継続」、「6. 男女」、「7-1. 2. 3. 出生年月日」、「8. 発病年」、「9. 発病月」、「10-1. 2. 疾患名とICD10」、「11. マスクリーニング」、「12. 知的障害」、「13. 痙攣」、「14. 成長障害」、「15. 嘔吐」、「16. 下痢」、「17. 肝腫」、「18. 特異顔貌」、「19. 眼科的異常」、「20. 骨

変形」、「21. 尿路結石」、「22. その他の症状」、「23. アミノ酸」、「24. 有機酸」、「25. 脂質」、「26. アンモニア」、「27. pH」、「28. セルロプラスミン」、「29. グルコース」、「30. 銅」、「31. 乳酸」、「32. ピルビン酸」、「33. その他の血液分析」、「34. アミノ酸」、「35. 有機酸」、「36. ムコ多糖体」、「37. グルコース」、「38. 蛋白」、「39. その他の尿分析」、「40. 負荷テスト」、「41. 酵素活性測定」、「42. 遺伝子解析」、「43. 骨X線検査」、「44. 合併症」、「45. 知能指数」、「46. 就学状況」、「47. 経過」、「48-1. 2. 3. 診断年月日」とした<sup>1)</sup>。

### 2) 自動的に画面に表示させる項目

データ入力時に、「\*7. 記入時（診断時）の年月齢」、すなわち「\*7-1. 歳」、「\*7-2. カ月」と、「\*9. 発病時の年月齢」、すなわち「\*9-1. 歳」、「\*9-2. カ月」を自動的に画面上に表示させる。

この計算式は、「I、悪性新生物」と同様である。ただし、「30-1. 記入年」は「48-1」、「30-2. 記入月」は「48-2」とする。

### 3) 各都道府県・指定都市・中核市、及び中央で解析結果を簡単に出力できる内容

①全項目の単純集計（\*7、\*9を含む）

②「10-2」別の、1～6、\*7、8、9、\*9、11～47の頻度（「45」は、左方2桁の数字で30個（00、01、～、28、29以上）に分類した頻度と、平均値±標準偏差値を算出する。）

## IX、血友病等血液疾患

### 1) コンピューター入力項目

入力項目は、「1. 平成年度」、「2. 都道府県等の番号」、「3. 保健所番号」、「4. 受給者番号」、「5. 新規・継続」、「6. 男女」、「7-1. 2. 3. 出生年月日」、「8. 発病年」、「9. 発病月」、「10-1. 2. 疾患名とICD10」、「11. 発熱」、「12. 鼻出血」、「13. 関節痛」、「14. 易感染性」、「15. 血尿」、「16. 貧血」、「17. 黄疸」、「18. 発疹」、「19. 出血斑」、「20. 脾腫」、「21. 腫瘤」、「22. 血管腫」、「23. Hb」、「24. RBC」、「25. Plt」、「26. WBC」、「27. 網赤血球」、「28. 出血時間」、「29. PT」、「30. APTT」、「31. 第Ⅷ因子」、「32. 第Ⅸ因子」、「33. ビルルビン」、「34. LDH」、「35. BUN」、「36. IgG」、「37. IgA」、「38. IgM」、「39. 直接Coombs試験」、「40. 白血球機能検査」、「41. 合併症」、「42. 経過」、「43-1. 2. 3. 診断年月日」とした<sup>1)</sup>。

### 2) 自動的に画面に表示させる項目

データ入力時に、「\*7. 記入時(診断時)の年月齢」、すなわち「\*7-1. 歳」、「\*7-2. ヲ月」と、「\*9. 発病時の年月齢」、すなわち「\*9-1. 歳」、「\*9-2. ヲ月」を自動的に画面上に表示させる。

この計算式は、「I、悪性新生物」と同様である。ただし、「30-1. 記入年」は「43-1」、「30-2. 記入月」は「43-2」とする。

### 3) 各都道府県・指定都市・中核市、及び中央で解析結果を簡単に出力できる内容

#### ①全項目の単純集計(\*7、\*9を含む)

②「10-2」別の、1~6、\*7、8、9、\*9、11~42の頻度(「24、25、27、29~33、35、37、38」は、左方の数字で10個に分類した頻度と、平均値±標準偏差値。「23、26、28、34、36」は、左方2桁の数字で30個(00、01、~、28、29以上)に分類した頻度と、平均値±標準偏差値を算出する。)

## X、神経・筋疾患

### 1) コンピューター入力項目

入力項目は、「1. 平成年度」、「2. 都道府県等の番号」、「3. 保健所番号」、「4. 受給者番号」、「5. 新規・継続」、「6. 男女」、「7-1. 2. 3. 出生年月日」、「8. 発病年」、「9. 発病月」、「10-1. 2. 疾患名とICD10」、「11. 小頭症」、「12. けいれん発作」、「13. 自閉傾向」、「14. 意識障害発作」、「15. 行動異常」、「16. 精神遅滞」、「17. 運動障害」、「18. 皮膚所見」、「19. 呼吸異常」、「20. 筋緊張低下」、「21-1. 2. 発達・知能指数」、「22. 脳波」、「23. CTまたはMRI」、「24. 麻疹」、「25. 発達指数」、「26. 筋生検」、「27. 筋電図」、「28. 血清CK」、「29. 血清乳酸」、「30. CTまたはMRI」、「31. 合併症」、「32. 経過」、「33-1. 2. 3. 診断年月日」とした<sup>1)</sup>。

### 2) 自動的に画面に表示させる項目

データ入力時に、「\*7. 記入時(診断時)の年月齢」、すなわち「\*7-1. 歳」、「\*7-2. ヲ月」と、「\*9. 発病時の年月齢」、すなわち「\*9-1. 歳」、「\*9-2. ヲ月」を自動的に画面上に表示させる。

この計算式は、「I、悪性新生物」と同様である。ただし、「30-1. 記入年」は「33



ー1」、「30-2. 記入月」は「33-2」とする。

3) 各都道府県・指定都市・中核市、及び中央で解析結果を簡単に出力できる内容

①全項目の単純集計(\*7、\*9を含む)

②「10-2」別の、1~6、\*7、8、9、\*9、11~32の頻度(「28、29」は、左方の数字で10個に分類した頻度。「21-1、21-2、25」は、左方2桁の数字で30個(00、01、~、28、29以上)に分類した頻度。また、これらは平均値±標準偏差値も算出する。)

## XI、成長ホルモン治療用意見書(初回)

### 1) コンピューター入力項目

#### ①全症例に対して

入力時は、直前の医療意見書で入力した「1. 平成年度」、「2. 都道府県・指定都市・中核市番号」、「3. 保健所番号」、「4. 受給者番号」、「5. 新規・継続」、「6. 男女」、「7-1. 2. 3. 出生年月日」、「10-1. 2. 疾患名とICD10コード」を自動的に表示させ、入力可能にする。

そして、入力項目は、「14. 15. 暦年年齢」、「16. 17. 骨年年齢」、「18. 身長」、「19. 体重」、「20. 身長SDスコア」、「21. 22. 23. 測定年月日」、「24. 1年前の身長」、「25. 26. 27. 測定年月日」、「28. 1年前成長率」、「29. 2年前の身長」、「30. 31. 32. 測定年月日」、「33. 2年前成長率」、「34. 症候性低血糖」、「35. 二次性徴」、

②成長ホルモン分泌不全性低身長症(下垂体性小人症)および成長ホルモン分泌不全を伴ったターナー症候群の場合、

「36-1. 2. GH負荷名1とGH頂値」、

「37-1. 2. GH負荷名2とGH頂値」、「38-1. 2. GH負荷名3とGH頂値」、「39. 40. 41. 42. 43. 44. 45. 46. 47. 48. 49. 夜間GH0m、20m、40m、60m、80m、100m、120m、140m、160m、180m、平均」、「50. 51. 52. 尿中GH1、2、3」、「53. IGF-I」、「54. IGFBP-3」、「55. GHキット」、「56. 出生胎位」、「57. 新生児仮死」、「58. 59. 新生児黄疸の程度と遷延」、「60. T4」、「61. fT4」、「62. T3」、「63. TSH」、「64. 脳の器質的疾患」、「65. 特発性・続発性」、

#### ③軟骨異栄養症の場合、

「66. 大孔狭窄」、「67. 脊椎管狭窄」、「68. 水頭症」、「69. 脊髄・馬尾圧迫」、「70. 神経障害」、「71. MRI・CTの所見」、「72. その他の外科医等のコメント」、「73. 74. 75. 76. 77. 手術の必要性(大孔狭窄)、(脊椎管狭窄)、(水頭症)、(脊髄・馬尾圧迫)、(神経障害)」、「78. 遺伝子診断」、

#### ④低身長を伴う慢性腎不全の場合、

「79. 保存療法・透析療法」、「80. 81. 腎機能検査年月」、「82. Ccr」、「83. 算定法」、「84. 血清クレアチニン」、「85. BUN」とした<sup>1)</sup>。

### 2) 自動的に画面に表示させる項目

各都道府県・指定都市・中核市でのデータ入力時に、自動的に画面上に表示させる内容は以下の通りである。ただし、以下の基準で算出できない場合は、「算出不能」と表示させる。

#### ①「\*17. 骨年齢/暦年齢(%)」

この計算式は、骨年齢/暦年齢=(「16.

骨年齢・歳」×12+「17. 骨年齢・ヵ月」)÷(「14. 暦年齢・歳」×12+「15. 暦年齢・ヵ月」)×100(%)である。ただし、申請される医療意見書には存在しないはずの値である99以上は、99とする。

②「\*18. 年月齢別、男女別の標準身長-3.0SD値、-2.5SD値、-2.0SD値」

この計算式は、次の通りである。「21. 測定年」-「7-1. 生年月日の年」(負の場合は+63する)=M、「22. 測定月」-「7-2. 生年月日の月」=N、Nが-11~-1の場合は、「M-1」歳「N+12」月を、Nが0~11の場合は、M歳N月を、MM歳NN月とする。「6. 男女」別、また「MM歳NN月」別に、別表3、1、2、の標準身長-3.0SD値、-2.5SD値、-2.0SD値を表示させる。

③「\*19-1. 標準体重」と、「\*19-2. 肥満度(身長70cm以上~17歳の場合、%表示)または「\*19-3. カウプ指数(身長70cm未満の場合)」

この計算式は、次の通りである。「MM」が5~18の場合、 $P \times 「18. 身長」 - Q = 「*19-1. 標準体重」$ を表示させる。ただし、P、Qの値は、男女別、年齢別に、「V、内分泌疾患」と同様である。

「MM」が4以下、かつ「18. 身長」が70以上の場合、「6」が1の時は、 $1.83 \times 0.001 \times 「18. 身長」^2 - 0.071 \times 「18. 身長」 + 4.43 = 「*19-1. 標準体重」$ を表示させる。「6」が2の時は、 $2.34 \times 0.001 \times 「18. 身長」^2 - 0.157 \times 「18. 身長」 + 7.71 = 「*19-1. 標準体重」$ を表示させる。

そして、いずれの時も各々の「\*19-1.

標準体重)に基づき、 $(「19. 体重」 - 「*19-1. 標準体重」) \div 「*19-1. 標準体重」 \times 100 = 「*19-2. 肥満度」$ (%)を表示させる。

「MM」が4以下、かつ「18. 身長」が70未満の場合、「19. 体重」÷「18. 身長」<sup>2</sup>×10000=「\*19-3. カウプ指数」を表示させる。

④「\*20. 年月齢別、男女別の計算上の身長SDスコア」

この計算式は、「6. 男女」別、また「MM歳NN月」別に、 $\{「18. 身長」 - 「標準身長(表4参照)」\} \div 「標準偏差(表4参照)」 = 「*20. 身長SDスコア」$ である。小数点2位以下は切り捨てる(右づめ)。原則として-表示である。-9.9以下は-9.9とする。

⑤「\*28. 補正成長率(. cm/年)」

この計算式は、次の通りである。「18. 身長」-「24. 1年前の身長」=P、「21. 測定年」×365+「23. 測定日」+「22. 測定月が、1の場合は0、2の場合は31、3の場合は59、4の場合は90、5の場合は120、6の場合は151、7の場合は181、8の場合は212、9の場合は243、10の場合は273、11の場合は304、12の場合は334」=Q、「25. 測定年」×365+「27. 測定日」+「26. 測定月が、1の場合は0、2の場合は31、3の場合は59、4の場合は90、5の場合は120、6の場合は151、7の場合は181、8の場合は212、9の場合は243、10の場合は273、11の場合は304、12の場合は334」=Rとし、補正成長率=P÷(Q-R)×365を表示させる。小数点2位以下は切り捨てる。

⑥「\*28. 半年前の成長率の年月齢別、男女別の標準値の-1.5SD値(. cm)」

この計算式は、次の通りである。(「21. 測定年」-「25. 測定年」)×6+(「22. 測定月」-「26. 測定月」)÷2=F(小数点以下切り上げ)、

ア、「6. 男女」が1、かつ「MM」が10以下の場合、また、「6. 男女」が2、かつ「MM」が8以下の場合、「NN-F」が-12~-1の際は、「MM-1」歳「NN-F+12」月別、「NN-F」が0~11の際は、「MM」歳「NN-F」月別、また、「6. 男女」別に、別表2の成長速度が標準値の-1.5SD値を表示させる。

イ、「6. 男女」が1、かつ「MM」が11以上の場合、また、「6. 男女」が2、かつ「MM」が9以上の場合、(「17. 骨年齢月」-F)が-12~-1の際は、(「16. 骨年齢歳」-1)歳(「17. 骨年齢月」-F+12)月別、(「17. 骨年齢月」-F)が0~11の際は、「16. 骨年齢歳」歳(「17. 骨年齢月」-F)月別、また、「6. 男女」別に、別表2の成長速度が標準値の-1.5SD値を表示させる。

⑦「\*33. 補正成長率(. cm/年)」

この計算式は、次の通りである。「24. 1年前の身長」-「29. 2年前の身長」=T、「30. 測定年」×365+「32. 測定日」+「31. 測定月」が、1の場合は0、2の場合は31、3の場合は59、4の場合は90、5の場合は120、6の場合は151、7の場合は181、8の場合は212、9の場合は243、10の場合は273、11の場合は304、12の場合は334=S、補正成長率=T÷(R-S)×365を表示させる。小数点2位以下は切り捨てる。

⑧「\*33. 1年半前の成長率の年月齢別、男女別の標準値の-1.5SD値(. cm)」

この計算式は、次の通りである。(「25. 測定年」-「30. 測定年」)×6+(「26. 測定月」-「31. 測定月」)÷2=G(小数点以下切り捨て)、

ア、「6. 男女」が1、かつ「MM」が10以下の場合、また、「6. 男女」が2、かつ「MM」が8以下の場合、「NN-F×2-G」が-24~-13の際は、「MM-2」歳「NN-F×2-G+24」月別、「NN-F×2-G」が-12~-1の際は、「MM-1」歳「NN-F×2-G+12」月別、「NN-F×2-G」が0~11の際は、「MM」歳「NN-F×2-G」月別、また、「6. 男女」別に、別表2の成長速度が標準値の-1.5SD値を表示させる。

イ、「6. 男女」が1、かつ「MM」が11以上の場合、また、「6. 男女」が2、かつ「MM」が9以上の場合、(「17. 骨年齢月」-F×2-G)が-24~-13の際は、(「16. 骨年齢歳」-2)歳(「17. 骨年齢月」-F×2-G+24)月別、(「17. 骨年齢月」-F×2-G)が-12~-1の際は、(「16. 骨年齢歳」-1)歳(「17. 骨年齢月」-F×2-G+12)月別、(「17. 骨年齢月」-F×2-G)が0~11の際は、「16. 骨年齢」歳(「17. 骨年齢月」-F×2-G)月別、また、「6. 男女」別に、別表2の成長速度が標準値の-1.5SD値を表示させる。

⑨「\*36-2. \*37-2. \*38-2. 補正GH頂値(. ng/ml)」、「\*39. 補正夜間GH値(. ng/ml) 0m、\*40. 20m、\*41. 40m、\*42. 60m、\*43. 80m、\*44. 100m、\*45. 120m、\*46. 140m、\*47. 160m、\*48. 180m」

補正GH値Yは、「55. GHキット」での測定値Xより、以下のGH補正式によって計算される。ただしこの補正式は毎年、変更される可能性があるため、コンピュータソフト上、容易に修正可能にしたい。毎回、以下の補正式を確認してから計算させ、必要に応じて数字部分を一度修正した場合は、それが継続されるようにする。ただし、修正する前に計算した補正值（\*49も含む）はそのまま変更されないようにする。「55」が

- 1、栄研RIAの場合は、 $Y=1.18X-0.92$
- 2、栄研IRMAは、 $Y=0.93X+1.42$
- 3、ダイボットRIAは、 $Y=0.86X+0.73$
- 4、第一ラジオIRMAは、 $Y=0.72X+0.83$
- 5、東ソ-IEMAは、 $Y=1.10X+0.97$
- 6、日立化成比放射線は、 $Y=0.72X+2.64$

#### ⑩「\*49. 補正夜間GH値( . ng/ml)平均」

「\*39、\*40、～、\*48」の記載が8個以上ある場合のみ、以下を計算する。

「\*39、\*40、～、\*48」の各々の値が1.9以下は1を、2.0以上はそのままの値を合計して、記載されている個数で割り算を行い、補正夜間平均GH値を計算する。

#### 3) 各都道府県・指定都市・中核市、及び中央で解析結果を簡単に出力できる内容

以下、P群とは、{「MM歳」別かつ「6. 男女」別の、「18. 身長」と「19. 体重」と「\*19-2. 肥満度」または「\*19-3. カウプ指数」、「36-1が1、2、3、4、5」と「36-1が6、7、8」別の「36-2、\*36-2」、「37-1が1～5」と「37-1が6～8」別の「37-2、\*37-2」、「38-1が1～5」と「38-1が6～8」別の「38-2、\*38-2」}とする。

①全項目の単純集計(P群、\*、\*\*印の項目を含む)

②「10-2」別の、P群、1～6、7-1、7-2、14、16、\*17、20、\*20、21、22、28、\*28、33、\*33、34、35、49、\*49、50～85の頻度。

ただし、4桁の身長「18、\*18、24、29」は、小数点以下を省略して分類した頻度。「\*19-3、36-2、\*36-2、37-2、\*37-2、38-2、\*38-2、53、60、61、62」は、左方2桁の数字で30個(00、01、～、28、29以上)に分類した頻度。「39～48、\*39～\*48、63、82、84、85」は、左方の数字で10個に分類した頻度。

「14、16、\*17、19、20、\*20、21、22、28、\*28、33、\*33、49、\*49、50～52、54」は2桁で分類した頻度。「\*19-1」は計算しない。

「\*19-2」は、「-90以下、-89～-80、～、-29～-20、-19～-15、-14～-10、-09～-00、+00～+09、+10～+14、+15～+19、+20～+29、～、+80～+89、+90以上」の22個に分類した頻度。

#### XII、成長ホルモン治療用意見書(継続)

##### 1) コンピューター入力項目

##### ①全症例に対して

入力時は、直前の医療意見書で入力した「1. 平成年度」、「2. 都道府県・指定都市・中核市番号」、「3. 保健所番号」、「4. 受給者番号」、「5. 新規・継続」、「6. 男女」、「10-1. 2. 疾患名とICD10コード」を自動的に表示させ、入力可能にする。また、前年度の「7-1. 2. 3. 出生年月日」、「\*28. 補正成長率( . cm/年)」も自動的に表示させ、入力可能にする。

そして、入力項目は、「14. 効果」、「15. GH治療と関係ある」、「16. GH治療中の有害事象」、「17. 治療開始前1年間の身長増加」、「18. 19. 20. 治療開始年月日」、「21. 身長」、「22. 二次性徴」、「23. 併用薬」、「24. 25. 26. 約1年前年月日」、「27. 身長」、「28. 二次性徴」、「29. 併用薬」、「30. 31. 32. 約半年前年月日」、「33. 身長」、「34. 二次性徴」、「35. 併用薬」、「36. 37. 38. 最近年月日」、「39. 身長」、「40. 二次性徴」、「41. 併用薬」、「42. 体重」、「43. 44. 骨年月齢」、「45. 身長SDスコア」、

#### ②低身長を伴う慢性腎不全のみ

「46. 47. 治療開始日年月」、「48. Ccr」、「49. 血清クレアチン」、「50. BUN」、「51. 52. 約1年前年月」、「53. Ccr」、「54. 血清クレアチン」、「55. BUN」、「56. 57. 約半年前年月」、「58. Ccr」、「59. 血清クレアチン」、「60. BUN」、「61. 62. 最近年月」、「63. Ccr」、「64. 血清クレアチン」、「65. BUN」とした<sup>1)</sup>。

#### 2) 自動的に画面に表示させる項目

各都道府県・指定都市・中核市でのデータ入力時に、自動的に画面上に表示させる内容は以下の通りである。ただし、以下の基準で算出できない場合は、「算出不能」と表示させる。

#### ①「\*21. 治療開始日の年月齢別、男女別の計算上の身長SDスコア」

この計算式は、次の通りである。「18. 開始年」-「7-1. 生年月日の年」（負の場合は+63する）=R、「19. 開始月」-「7-2. 生年月日の月」=S、Sが-11~-1

の場合は、「R-1」歳「S+12」月を、Sが0~11の場合は、R歳S月を、RR歳SS月とする。「6. 男女」別、また「RR歳SS月」別に、{「21. 身長」-「標準身長（表4参照）」}÷「標準偏差（表4参照）」=「\*21. 身長SDスコア」を表示させる。

小数点2位以下は切り捨てる（右づめ）。原則として-表示である。-9.9以下は-9.9とする。以下、同様。

#### ②「\*27. 約1年前の年月齢別、男女別の計算上の身長SDスコア」

この計算式は、次の通りである。「24. 1年前年」-「7-1. 生年月日の年」（負の場合は+63する）=T、「25. 1年前月」-「7-2. 生年月日の月」=U、Uが-11~-1の場合は、「T-1」歳「U+12」月を、Uが0~11の場合は、T歳U月を、TT歳UU月とする。「6. 男女」別、また「TT歳UU月」別に、{「27. 身長」-「標準身長（表4参照）」}÷「標準偏差（表4参照）」=「\*27. 身長SDスコア」を表示させる。

#### ③「\*29. 約1年前からの補正成長率（. cm/年）」

この計算式は、次の通りである。「39. 最近の身長」-「27. 約1年前の身長」=B、「36. 最近年」×365+「38. 最近日」+「37. 最近月が、1の場合は0、2の場合は31、3の場合は59、4の場合は90、5の場合は120、6の場合は151、7の場合は181、8の場合は212、9の場合は243、10の場合は273、11の場合は304、12の場合は334」=C、「24. 約1年前年」×365+「26. 日」+「25. 月が、1の場合は0、2の場合は31、3の場合は59、4の場合は90、5の場合は120、6の場合は151、7の場合は181、8の場合は212、

9の場合は243、10の場合は273、11の場合は304、12の場合は334」=D、約1年前からの補正成長率=B÷(C-D)×365を表示させる。小数点2位以下は切り捨てる。

④「\*33. 約半年前の年月齢別、男女別の計算上の身長SDスコア」

この計算式は、次の通りである。「30. 半年前年」-「7-1. 生年月日の年」(負の場合は+63する)=V、「31. 半年前月」-「7-2. 生年月日の月」=W、Wが-11~-1の場合は、「V-1」歳「W+12」月を、Wが0~11の場合は、V歳W月を、VV歳WW月とする。「6. 男女」別、また「VV歳WW月」別に、{「33. 身長」-「標準身長(表4参照)」}÷「標準偏差(表4参照)」=「\*33. 身長SDスコア」を表示させる。

⑤「\*35. 約半年前からの補正成長率(.cm/年)」

この計算式は、次の通りである。「39. 最近の身長」-「33. 約半年前の身長」=E、「30. 約半年前年」×365+「32. 日」+「31. 月が、1の場合は0、2の場合は31、3の場合は59、4の場合は90、5の場合は120、6の場合は151、7の場合は181、8の場合は212、9の場合は243、10の場合は273、11の場合は304、12の場合は334」=J、約半年前からの補正成長率=E÷(C-J)×365を表示させる。小数点2位以下は切り捨てる。

⑥「\*42-1. 標準体重」と、「\*42-2. 肥満度(身長70cm以上~17歳の場合、%表示)または「\*19-3. カウプ指数(身長70cm未満の場合)」

この計算式は、次の通りである。「36. 測

定年」-「7-1. 生年月日の年」(負の場合は+63する)=M、「37. 測定月」-「7-2. 生年月日の月」=N、Nが-11~-1の場合は、「M-1」歳「N+12」月を、Nが0~11の場合は、M歳N月を、MM歳NN月とする。「MM」が5~18の場合、P×「39. 身長」-Q=「\*42-1. 標準体重」を表示させる。ただし、P、Qの値は、男女別、年齢別に、「V. 内分泌疾患」と同様である。

「MM」が4以下、かつ「39. 身長」が70以上の場合、「6」が1の時は、 $1.83 \times 0.001 \times \text{「39. 身長」}^2 - 0.071 \times \text{「39. 身長」} + 4.43 = \text{「*42-1. 標準体重」}$ を表示させる。「6」が2の時は、 $2.34 \times 0.001 \times \text{「39. 身長」}^2 - 0.157 \times \text{「39. 身長」} + 7.71 = \text{「*42-1. 標準体重」}$ を表示させる。

そして、いずれの時も各々の「\*42-1. 標準体重」に基づき、(「42. 体重」-「\*42-1. 標準体重」)÷「\*42-1. 標準体重」×100=「\*42-2. 肥満度」(%)を表示させる。

「MM」が4以下、かつ「39. 身長」が70未満の場合、「42. 体重」÷「39. 身長」<sup>2</sup>×10000=「\*42-3. カウプ指数」を表示させる。小数点以下は切り捨てる(右づめ)。

⑦「\*45. 年月齢別、男女別の計算上の身長SDスコア」

「6. 男女」別、また「MM歳NN月」別に、{「39. 身長」-「標準身長(表4参照)」}÷「標準偏差(表4参照)」=「\*45. 身長SDスコア」を表示させる。

⑧「\*46. 男子156.4cm、女子145.4cmに達する年月齢および平成年月の推計値」

「6」が1の場合、{156.4-「39.最近の身長」} ÷ {「B ÷ (C-D)」日割り補正成長率} + 「C最近の日」 = 「X」、これが計算できない際のみ、{156.4-「39.最近の身長」} ÷ {「E ÷ (C-J)」日割り補正成長率} + 「C最近の日」 = 「X」、

「6」が2の場合、{145.4-「39.最近の身長」} ÷ {「B ÷ (C-D)」日割り補正成長率} + 「C最近の日」 = 「X」、これが計算できない際のみ、{145.4-「39.最近の身長」} ÷ {「E ÷ (C-J)」日割り補正成長率} + 「C最近の日」 = 「X」、

上記の「X」 ÷ 365 = 「Y (整数桁)」 + 「あまりZ」、 「あまりZ」 ÷ 30.4 = 「ZZ (整数桁)」 + あまり、患児の年月齢の推計値、「Y」歳「ZZ」ヵ月を表示させる。

「7-1」 + 「Y」 = 「YY」、 「YY」が63以上の時は「YY」 - 63 = 「YYYY」、 「YY」が62以下の時は「YY」 = 「YYYY」、 「7-2」 + 「ZZ」 = 「ZZZ」、 「ZZZ」が1~12の場合は、平成「YYYY」年「ZZZ」月を、「ZZZ」が13~24の場合は、平成「YYYY+1」年「ZZZ-12」月を表示させる。

### 3) 各都道府県・指定都市・中核市、及び中央で解析結果を簡単に出力できる内容

以下、P群とは、{「MM歳」別かつ「6.男女」別の、「39.身長」と「42.体重」と「\*42-2.肥満度」と「\*42-3.カウプ指数」}とする。

①全項目の単純集計 (P群、\*、\*\*印の項目を含む)

②「10-2」別の、P群、1~6、7-1、7-2、14~17、\*28、18、21~23、\*21、\*27、28、29、\*29、\*33、34、35、\*35、36、37、40、41、43、45~65、\*45、\*46の頻度。

4桁の身長「21、27、33、39」は、小数点以下を省略して分類した頻度。「48~50、53~55、58~60、63~65」は、左方の数字で10個に分類した頻度。

「\*42-3」は、左方2桁の数字で30個(00、01、~、28、29以上)に分類した頻度。「\*21、\*27、\*28、\*29、\*33、\*35、42、\*45、\*46、他」は2桁で分類した頻度。「\*42-1」は計算しない。「\*42-2」は、「-90以下、-89~-80、~、-29~-20、-19~-15、-14~-10、-09~-00、+00~+09、+10~+14、+15~+19、+20~+29、~、+80~+89、+90以上」の22個に分類した頻度。

### 謝辞：

小児慢性特定疾患登録時の自動的表示・解析内容に関しては、効果的な小児慢性特定疾患治療研究事業の推進に関する研究班(分担研究者：柳澤正義教授)、小児慢性特定疾患の療育及び実態に関する研究班(分担研究者：神谷斉院長)、小児慢性特定疾患等の疫学に関する研究班(原田研介教授)の班員、また、日本子ども家庭総合研究所の平山宗宏所長、高野陽部長をはじめとする多くの先生方から貴重な御意見をいただきましたので、深謝申し上げます。

### 参考文献

1) 柳澤正義：平成9年度厚生省心身障害研究「小児慢性特定疾患治療研究事業の評価に関する研究」、1998。

2) 伊藤善也、奥野晃正他：肥満度判定のための幼児標準身長体重曲線。小児保健研究、55(6)：752~756、1996。

3) 山崎公恵、松岡尚史他：1990年版性別年齢別身長別体重の検討。日本小児科学会雑誌、98(1)：96~102、1994。

(別表1) (成長ホルモン分泌不全性低身長症、慢性腎不全による低身長用)  
標準身長の-2.5SD値 上段男子, 下段女子 (単位:cm)

	0月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
0歳	45.1	49.1	52.5	55.7	58.0	60.0	62.0	64.0	65.2	65.6	66.5	67.8
	44.2	48.3	50.9	54.4	57.1	58.8	60.6	61.9	62.4	63.3	65.0	66.5
1歳	69.3	70.1	70.6	71.3	72.2	72.9	73.6	74.1	75.6	76.6	76.9	77.2
	67.4	68.4	69.8	70.6	71.1	71.6	72.4	73.4	74.8	75.4	76.0	76.2
2歳	77.6	77.9	78.4	78.9	79.3	80.0	80.6	81.3	81.7	82.4	83.0	83.7
	76.6	76.6	76.7	76.7	77.4	78.4	79.1	79.8	80.9	81.6	82.2	82.8
3歳	84.3	84.9	85.6	86.2	86.6	86.9	87.3	87.9	88.2	88.6	88.9	89.5
	83.1	83.6	84.2	84.8	85.3	85.9	86.3	86.9	87.4	88.0	88.6	89.2
4歳	90.0	90.3	90.9	91.3	91.9	92.5	92.9	93.5	94.1	94.7	95.3	95.9
	89.9	90.7	91.3	91.9	92.3	92.9	93.2	93.5	94.1	94.4	94.9	95.6
5歳	96.5	97.1	97.7	98.3	98.7	98.9	99.0	99.4	99.6	100.0	100.6	101.1
	96.1	96.6	97.2	97.7	98.0	98.2	98.5	98.9	99.1	99.4	100.0	100.3
6歳	101.7	102.0	102.5	103.1	103.7	104.2	104.8	105.1	105.1	106.0	106.5	107.0
	100.9	101.5	101.9	102.5	103.1	103.4	104.0	104.5	104.8	105.3	105.7	106.2
7歳	107.2	107.6	108.1	108.6	109.1	109.3	109.8	110.3	110.7	111.2	111.7	111.8
	106.7	107.2	107.4	107.9	108.3	108.8	109.3	109.8	110.0	110.5	111.0	111.1
8歳	112.3	112.8	113.2	113.7	114.2	114.4	114.9	115.3	115.8	116.2	116.3	116.7
	111.6	112.1	112.3	112.8	113.3	113.7	113.9	114.4	114.7	115.1	115.3	115.8
9歳	117.2	117.6	118.0	118.2	118.7	119.1	119.5	119.7	120.1	120.6	120.8	121.3
	116.3	116.5	117.0	117.2	117.7	117.9	118.4	118.6	119.2	119.5	119.7	120.3
10歳	121.4	121.9	122.3	122.6	123.0	123.5	123.6	124.1	124.4	124.6	125.0	125.3
	120.6	121.1	121.4	121.7	122.2	122.5	123.0	123.6	124.1	124.7	125.3	125.8
11歳	125.5	125.8	126.3	126.5	126.7	127.2	127.4	127.8	128.1	128.5	128.7	129.3
	126.4	127.0	127.5	128.1	128.7	129.2	129.8	130.2	131.0	131.4	132.0	132.8
12歳	129.7	130.0	130.4	130.7	131.0	131.3	131.7	132.5	133.1	133.8	134.4	135.0
	133.2	133.8	134.3	135.0	135.4	136.1	136.8	137.1	137.5	137.8	138.4	138.6
13歳	135.6	136.2	137.0	137.8	138.4	139.0	139.6	140.3	141.1	141.7	142.2	143.0
	139.1	139.4	139.9	140.2	140.7	140.9	141.5	141.6	141.8	141.9	142.1	142.2
14歳	143.7	144.4	144.9	145.6	146.4	147.0	147.8	148.1	148.6	149.2	149.6	149.9
	142.6	142.7	142.8	143.0	143.1	143.3	143.4	143.8	143.8	143.9	144.0	144.0
15歳	150.5	151.0	151.6	151.9	152.3	152.9	153.4	153.5	153.7	153.9	154.1	154.2
	144.1	144.2	144.2	144.3	144.4	144.4	144.5	144.5	144.6	144.6	144.6	144.7
16歳	154.2	154.3	154.5	154.9	155.0	155.2	155.3	155.4	155.5	155.5	155.6	155.7
	144.7	144.7	144.8	144.8	144.8	144.9	144.9	144.9	145.0	145.0	145.0	145.0
17歳	156.0	156.0	156.1	156.2	156.3	156.4	156.4	←	←	←	←	←
	145.1	145.3	145.3	145.3	145.4	145.4	145.4	←	←	←	←	←

Suwa, et al. Clin Pediatr Endocrinol Z:87, 1993に基づき作製



(別表2) (脳腫瘍等器質的原因による成長ホルモン分泌不全性低身長症及びターナー一症候群用)

## 標準身長の一2.0SD値 上段男子, 下段女子

(単位: cm)

	0月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
0歳	46.0 45.1	50.1 49.3	53.7 52.1	56.9 55.5	59.2 58.2	61.2 59.9	63.1 61.7	65.0 63.0	66.2 63.6	66.8 64.6	67.7 66.2	69.0 67.7
1歳	70.4 68.7	71.3 69.7	71.9 71.0	72.6 71.9	73.5 72.4	74.3 73.0	75.1 73.8	75.6 74.8	77.0 76.1	78.0 76.8	78.4 77.4	78.8 77.7
2歳	79.2 78.1	79.5 78.2	80.0 78.4	80.5 78.5	81.0 79.2	81.7 80.2	82.3 80.9	83.0 81.6	83.5 82.6	84.2 83.3	84.8 83.9	85.5 84.5
3歳	86.1 84.9	86.7 85.4	87.4 86.0	88.0 86.6	88.4 87.1	88.8 87.7	89.2 88.2	89.8 88.8	90.2 89.3	90.6 89.9	91.0 90.5	91.6 91.1
4歳	92.1 91.8	92.5 92.6	93.1 93.2	93.5 93.8	94.1 94.2	94.6 94.8	95.0 95.2	95.6 95.5	96.1 96.1	96.7 96.5	97.3 97.0	97.9 97.6
5歳	98.5 98.1	99.1 98.6	99.7 99.2	100.3 99.7	100.7 100.0	101.0 100.3	101.2 100.6	101.6 101.0	101.9 101.3	102.3 101.6	102.9 102.2	103.4 102.6
6歳	104.0 103.2	104.4 103.8	104.9 104.2	105.5 104.8	106.1 105.4	106.6 105.8	107.2 106.4	107.5 106.9	107.5 107.2	108.4 107.7	108.9 108.1	109.4 108.6
7歳	109.7 109.1	110.1 109.6	110.6 109.9	111.1 110.4	111.6 110.8	111.8 111.3	112.3 111.8	112.8 112.3	113.2 112.5	113.7 113.0	114.2 113.5	114.4 113.7
8歳	114.9 114.2	115.4 114.7	115.8 114.9	116.3 115.4	116.8 115.9	117.0 116.3	117.5 116.6	117.9 117.1	118.4 117.4	118.8 117.8	119.0 118.1	119.4 118.6
9歳	119.9 119.1	120.3 119.3	120.7 119.8	120.9 120.1	121.4 120.6	121.8 120.8	122.2 121.3	122.5 121.6	122.9 122.2	123.4 122.5	123.6 122.8	124.1 123.4
10歳	124.3 123.7	124.8 124.2	125.2 124.6	125.5 124.9	125.9 125.4	126.4 125.8	126.6 126.3	127.1 126.9	127.4 127.4	127.7 128.0	128.1 128.6	128.4 129.1
11歳	128.7 129.7	129.0 130.3	129.5 130.8	129.8 131.4	130.0 132.0	130.5 132.5	130.8 133.1	131.2 133.5	131.6 134.2	132.0 134.6	132.3 135.2	132.9 135.9
12歳	133.3 136.3	133.7 136.9	134.1 137.4	134.5 138.0	134.8 138.4	135.2 139.1	135.6 139.7	136.4 140.0	137.0 140.4	137.7 140.7	138.3 141.2	138.9 141.4
13歳	139.5 141.9	140.1 142.2	140.8 142.6	141.6 142.9	142.2 143.4	142.8 143.6	143.4 144.1	144.1 144.2	144.8 144.4	145.4 144.5	145.9 144.7	146.6 144.8
14歳	147.3 145.2	147.9 145.3	148.4 145.4	149.1 145.6	149.8 145.7	150.4 145.9	151.1 146.0	151.4 146.3	151.9 146.3	152.4 146.4	152.8 146.5	153.1 146.5
15歳	153.6 146.6	154.1 146.7	154.6 146.7	154.9 146.8	155.3 146.9	155.8 146.9	156.3 147.0	156.4 147.0	156.6 147.1	156.8 147.1	157.0 147.1	157.1 147.2
16歳	157.1 147.2	157.2 147.2	157.4 147.3	157.7 147.3	157.8 147.3	158.0 147.4	158.1 147.4	158.2 147.4	158.3 147.5	158.3 147.5	158.4 147.5	158.5 147.5
17歳	158.8 147.6	158.8 147.8	158.9 147.8	159.0 147.8	159.1 147.9	159.2 147.9	159.2 147.9	←	←	←	←	←

Suwa, et al. Clin Pediatr Endocrinol 2:87, 1993に基づき作製

## 成長速度が標準値の一1.5SD値 上段男子, 下段女子 (単位: cm)

	0月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
1歳	11.6 11.3	11.1 10.8	10.5 10.4	9.9 9.9	9.6 9.6	9.3 9.2	8.9 8.8	8.7 8.6	8.5 8.3	8.3 8.1	8.1 7.9	7.8 7.7
2歳	7.6 7.5	7.5 7.5	7.4 7.3	7.3 7.2	7.2 7.1	7.1 6.9	7.0 6.8	6.9 6.7	6.7 6.7	6.6 6.6	6.5 6.5	6.5 6.4
3歳	6.4 6.3	6.3 6.2	6.3 6.2	6.2 6.1	6.1 6.1	6.1 6.0	6.0 6.0	6.0 6.0	5.9 5.9	5.9 5.9	5.9 5.9	5.8 5.8
4歳	5.8 5.8	5.7 5.8	5.7 5.7	5.5 5.7	5.5 5.7	5.4 5.6	5.4 5.6	5.4 5.6	5.3 5.5	5.3 5.5	5.2 5.5	5.2 5.4
5歳	5.1 5.4	5.1 5.4	5.0 5.3	5.0 5.3	5.0 5.3	4.9 5.2	4.9 5.2	4.9 5.2	4.7 5.2	4.7 5.2	4.7 5.1	4.6 5.2
6歳	4.6 5.1	4.6 5.1	4.5 5.1	4.5 5.1	4.5 5.0	4.5 5.0	4.5 4.9	4.5 4.9	4.6 4.7	4.6 4.7	4.6 4.7	4.6 4.6
7歳	4.6 4.6	4.6 4.6	4.6 4.5	4.6 4.5	4.6 4.5	4.5 4.4	4.5 4.4	4.5 4.4	4.4 4.3	4.4 4.3	4.4 4.3	4.4 4.3
8歳	4.4 4.3	4.4 4.3	4.3 4.2	4.4 4.2	4.4 4.2	4.3 4.2	4.3 4.1	4.3 4.1	4.2 4.1	4.2 4.1	4.2 4.1	4.1 4.2
9歳	4.1 4.2	4.1 4.2	4.1 4.2	4.1 4.2	4.1 4.3	4.0 4.3	4.0 4.4	4.0 4.5	4.0 4.6	4.0 4.7	4.0 4.8	3.9 5.0
10歳	3.9 5.2	3.9 5.2	3.9 5.4	3.9 5.5	3.9 5.7	4.0 5.8	4.0 6.0	4.0 6.1	4.0 6.2	4.0 6.4	4.0 6.4	4.1 6.6
11歳	4.1 6.7	4.1 6.7	4.1 6.6	4.2 6.5	4.3 6.4	4.4 6.2	4.5 6.1	4.7 5.9	4.8 5.6	5.0 5.5	5.1 5.2	5.3 4.8
12歳	5.5 4.5	5.7 4.2	5.9 4.0	6.1 3.6	6.3 3.3	6.6 3.1	6.9 2.9	7.1 2.7	7.2 2.4	7.4 2.2	7.5 2.0	7.7 1.9
13歳	7.7 1.7	7.5 1.6	7.4 1.5	7.2 1.3	7.1 1.2	7.0 1.2	6.9 1.1	6.6 1.0	6.4 0.9	6.1 0.8	5.7 0.7	5.3 0.6
14歳	5.0 0.6	4.7 0.5	4.4 0.5	4.1 0.5	3.8 0.4	3.6 0.4	3.3 0.4	3.2 0.3	3.0 0.3	2.8 0.2	2.6 0.3	2.5 0.2
15歳	2.3 0.2	2.1 0.2	2.0 0.1	1.8 0.1	1.6 0.0	1.5 0.0	1.4 —	1.3 —	1.1 —	1.0 —	1.0 —	0.9 —
16歳	0.8 —	0.7 —	0.7 —	0.6 —	0.5 —	0.4 —	0.3 —	0.3 —	0.3 —	0.2 —	0.1 —	0.1 —
17歳	0.0 —	0.0 —	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

Suwa, et al. Clin Pediatr Endocrinol 1992, 1(1), 5.13に基づき作製  
男17歳2月, 女15歳6月以降はマイナス値となるため「-」とした。

(別表3) (軟骨異常栄養症用)  
標準身長の-3.0SD値 上段男子, 下段女子

(単位: cm)

	0月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
0歳	44.2	48.0	51.2	54.5	56.8	58.8	60.8	62.9	64.1	64.4	65.2	66.6
	43.2	47.3	49.6	53.2	56.0	57.6	59.5	60.8	61.1	62.0	63.7	65.2
1歳	68.1	68.9	69.3	69.9	70.8	71.4	72.0	72.5	74.2	75.2	75.4	75.6
	66.1	67.1	68.5	69.3	69.7	70.2	70.9	72.0	73.4	73.9	74.5	74.7
2歳	76.0	76.2	76.7	77.2	77.6	78.3	78.8	79.5	79.9	80.6	81.2	81.9
	75.0	74.9	74.9	74.8	75.5	76.6	77.3	78.0	79.1	79.8	80.4	81.0
3歳	82.5	83.1	83.8	84.4	84.7	85.0	85.3	85.9	86.2	86.5	86.8	87.4
	81.3	81.8	82.4	83.0	83.4	84.0	84.4	85.0	85.4	86.0	86.6	87.2
4歳	87.8	88.1	88.7	89.0	89.7	90.3	90.7	91.4	92.0	92.7	93.3	93.9
	87.9	88.8	89.4	90.0	90.3	90.9	91.2	91.4	92.0	92.3	92.8	93.5
5歳	94.5	95.1	95.7	96.3	96.6	96.8	96.8	97.1	97.3	97.6	98.2	98.7
	94.0	94.5	95.2	95.7	95.9	96.1	96.3	96.7	96.9	97.1	97.7	98.0
6歳	99.3	99.6	100.1	100.7	101.3	101.8	102.4	102.6	102.6	103.5	104.0	104.5
	98.6	99.2	99.5	100.1	100.7	101.0	101.6	102.1	102.3	102.8	103.2	103.7
7歳	104.7	105.1	105.6	106.1	106.6	106.7	107.2	107.7	108.1	108.6	109.1	109.2
	104.2	104.7	104.9	105.4	105.8	106.3	106.8	107.3	107.4	107.9	108.4	108.5
8歳	109.7	110.2	110.6	111.1	111.6	111.7	112.2	112.6	113.1	113.5	113.6	114.0
	109.0	109.5	109.6	110.1	110.6	111.0	111.2	111.7	111.9	112.3	112.5	113.0
9歳	114.5	114.9	115.3	115.4	115.9	116.3	116.7	116.9	117.3	117.8	117.9	118.4
	113.5	113.6	114.1	114.3	114.8	114.9	115.4	115.6	116.2	116.4	116.6	117.2
10歳	118.5	119.0	119.4	119.6	120.0	120.5	120.6	121.1	121.3	121.5	121.9	122.1
	117.4	117.9	118.2	118.4	118.9	119.2	119.7	120.3	120.8	121.4	122.0	122.5
11歳	122.3	122.5	123.0	123.2	123.3	123.8	124.0	124.3	124.6	124.9	125.1	125.7
	123.1	123.7	124.2	124.8	125.4	125.9	126.5	126.9	127.7	128.1	128.8	129.6
12歳	126.0	126.3	126.6	126.9	127.1	127.4	127.7	128.6	129.2	129.9	130.5	131.1
	130.0	130.7	131.2	131.9	132.3	133.1	133.8	134.1	134.6	134.9	135.5	135.7
13歳	131.7	132.3	133.1	133.9	134.5	135.1	135.7	136.5	137.3	138.0	138.5	139.3
	136.3	136.6	137.1	137.4	138.0	138.2	138.8	138.9	139.1	139.2	139.4	139.5
14歳	140.1	140.8	141.3	142.1	142.9	143.6	144.4	144.7	145.3	145.9	146.4	146.7
	140.0	140.1	140.2	140.4	140.5	140.7	140.8	141.2	141.2	141.3	141.4	141.4
15歳	147.3	147.9	148.5	148.8	149.3	149.9	150.5	150.6	150.8	151.0	151.2	151.3
	141.5	141.6	141.6	141.7	141.8	141.8	141.9	141.9	142.0	142.0	142.0	142.1
16歳	151.3	151.4	151.6	152.0	152.1	152.3	152.4	152.5	152.6	152.6	152.7	152.8
	142.1	142.1	142.2	142.2	142.2	142.3	142.3	142.3	142.4	142.4	142.4	142.4
17歳	153.2	153.2	153.3	153.4	153.5	153.6	153.6	←	←	←	←	←
	142.5	142.8	142.8	142.8	142.9	142.9	142.9	←	←	←	←	←

Suwa, et al. Clin Pediatr Endocrinol Z:87, 1993に基づき作製



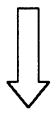
表5. 成長率(縦断的データ) 右欄は標準偏差値(SD) 上段男子, 下段女子 (単位: cm)

	0月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
1歳	13.91.55	13.21.43	12.41.30	11.71.18	11.21.10	10.81.01	10.30.93	10.00.89	9.80.86	9.50.81	9.30.80	9.00.78
	13.41.43	12.81.32	12.21.22	11.61.11	11.21.07	10.71.02	10.30.98	10.00.95	9.70.93	9.40.90	9.20.88	9.00.86
2歳	8.80.77	8.60.75	8.50.72	8.30.70	8.20.70	8.10.70	8.00.70	7.90.70	7.80.71	7.70.71	7.60.71	7.60.71
	8.80.84	8.70.83	8.50.81	8.40.80	8.30.79	8.10.79	8.00.78	7.90.77	7.80.76	7.70.75	7.60.75	7.50.75
3歳	7.50.71	7.40.72	7.40.72	7.30.73	7.20.73	7.20.74	7.10.74	7.10.74	7.00.75	7.00.75	7.00.75	6.90.75
	7.40.75	7.30.75	7.30.75	7.20.75	7.20.75	7.10.75	7.10.75	7.10.75	7.00.74	7.00.74	7.00.74	6.90.74
4歳	6.90.75	6.80.76	6.80.76	6.70.77	6.70.77	6.60.78	6.60.78	6.60.78	6.50.78	6.50.78	6.40.78	6.40.79
	6.90.74	6.90.74	6.80.73	6.80.73	6.80.73	6.70.73	6.70.73	6.70.73	6.60.73	6.60.73	6.60.73	6.50.72
5歳	6.30.79	6.30.79	6.20.80	6.20.80	6.20.81	6.10.82	6.10.83	6.10.83	6.00.84	6.00.84	6.00.84	5.90.84
	6.50.72	6.50.72	6.40.72	6.40.72	6.40.72	6.30.71	6.30.71	6.30.71	6.30.71	6.30.71	6.20.71	6.20.70
6歳	5.90.84	5.90.84	5.80.84	5.80.84	5.80.84	5.80.84	5.80.84	5.80.84	5.80.83	5.80.83	5.80.82	5.80.82
	6.10.70	6.10.70	6.10.70	6.10.70	6.00.70	6.00.70	5.90.70	5.90.70	5.80.71	5.80.71	5.80.72	5.70.72
7歳	5.80.81	5.80.81	5.80.80	5.80.80	5.80.79	5.70.79	5.70.78	5.70.78	5.60.78	5.60.78	5.60.77	5.50.75
	5.70.73	5.70.73	5.60.73	5.60.73	5.60.73	5.50.74	5.50.74	5.50.74	5.40.75	5.40.75	5.40.75	5.40.75
8歳	5.50.74	5.50.73	5.40.71	5.40.70	5.40.70	5.30.69	5.30.68	5.30.68	5.20.68	5.20.68	5.20.67	5.10.66
	5.40.75	5.40.75	5.30.75	5.30.75	5.30.76	5.30.76	5.30.77	5.30.77	5.30.78	5.30.78	5.30.79	5.40.79
9歳	5.10.65	5.10.65	5.10.65	5.10.65	5.10.65	5.00.65	5.00.65	5.00.65	5.00.65	5.00.65	5.00.66	4.90.67
	5.40.80	5.40.81	5.40.81	5.40.82	5.50.82	5.50.83	5.60.83	5.70.82	5.80.80	5.90.79	6.00.78	6.20.77
10歳	4.90.68	4.90.67	4.90.67	4.90.66	4.90.66	5.00.66	5.00.66	5.00.66	5.00.66	5.00.66	5.00.67	5.10.69
	6.30.76	6.40.77	6.60.79	6.70.80	6.90.83	7.10.87	7.30.90	7.50.94	7.70.99	7.91.03	8.01.04	8.21.04
11歳	5.10.70	5.20.71	5.20.71	5.30.72	5.40.72	5.50.72	5.60.72	5.80.73	5.90.74	6.10.75	6.30.77	6.50.78
	8.31.05	8.21.03	8.11.01	8.00.99	7.80.95	7.60.92	7.40.88	7.20.86	6.90.85	6.70.83	6.40.83	6.10.84
12歳	6.70.80	6.90.83	7.20.87	7.40.90	7.80.93	8.21.07	8.61.15	8.91.23	9.21.32	9.51.40	9.61.42	9.81.43
	5.80.84	5.50.87	5.30.90	5.00.93	4.70.92	4.50.91	4.20.90	4.00.90	3.70.90	3.50.90	3.30.88	3.20.87
13歳	9.91.45	9.71.45	9.61.45	9.41.45	9.21.38	8.91.30	8.71.23	8.31.16	8.01.08	7.61.01	7.20.97	6.70.92
	3.00.85	2.80.83	2.70.82	2.50.80	2.40.78	2.30.76	2.20.74	2.10.72	1.90.70	1.80.68	1.70.66	1.60.65
14歳	6.30.88	6.00.85	5.60.83	5.30.80	5.00.79	4.80.79	4.50.78	4.30.76	4.10.73	3.90.71	3.70.71	3.50.70
	1.50.63	1.40.61	1.40.58	1.30.56	1.20.54	1.20.52	1.10.50	1.00.48	1.00.47	0.90.45	0.90.43	0.80.42
15歳	3.30.69	3.10.69	3.00.68	2.80.68	2.60.66	2.50.65	2.30.63	2.20.61	2.00.60	1.90.58	1.80.56	1.70.55
	0.80.40	0.80.40	0.70.40	0.70.40	0.60.39	0.60.39	0.50.38	0.50.38	0.40.38	0.40.38	0.40.37	0.40.37
16歳	1.60.53	1.50.52	1.40.50	1.30.49	1.20.47	1.10.46	1.00.44	0.90.42	0.90.41	0.80.39	0.70.39	0.70.39
	0.40.36	0.40.36	0.30.35	0.30.35	0.30.33	0.20.32	0.20.30	0.20.28	0.20.27	0.20.25	0.20.23	0.10.22
17歳	0.60.39	0.60.39	0.50.38	0.50.38	0.40.35	0.40.33	0.30.30	0.30.28	0.20.27	0.20.25		
	0.10.20	0.10.19	0.10.19	0.10.18								

(Suwa, et al. Clin Pediatr Endocrinol 1992,1(1), 5.13)



**検索用テキスト** OCR(光学的文字認識)ソフト使用  
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約:小児慢性特定疾患治療研究事業を効果的に推進するため、小児慢性特定疾患登録時に自動的に、計算、表示できる内容を検討した。患児の年月齢、発病年月齢、「内分泌疾患」や「糖尿病」における肥満度やカウプ指数、成長ホルモン治療の判定基準となる参考値等を、医療意見書の内容のコンピューター入力時に自動的に表示できるように、コンピューターソフトに組み入れる。また、解析結果の一部を簡単に出力できるようにする。